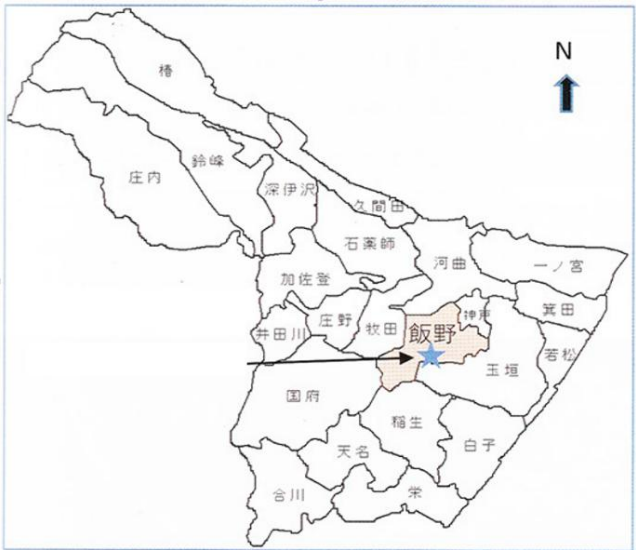


25 飯野地区地域づくり協議会



飯野地区は、鈴鹿中央道路が東西方向に走り、中央部の水田地帯を中心に、周辺を集落が取り囲む地域で、多くの公共施設や鈴鹿農協本店、鈴鹿中央病院などが立地しています。

また、当地区には、飯野、神戸、清和、玉垣の4つの小学校区と、創徳、神戸、千代崎の3つの中学校区があります。

飯野地区地域づくり協議会では、地域づくりの基本目標として「みんなが笑顔で暮らすまち 飯野」を掲げ、飯野地区に暮らすみんなが、互いに協力し、活力があり、安心安全に楽しく生活し、笑顔であふれるようなまちをつくることを目標に活動しています。

1 主な取組と基本理念

「防災・防犯・環境」、「子育て・福祉」、「文化・スポーツ」を三本柱にさまざまな活動に取り組んでいます。



南條会長

協議会の基本理念は「住み続けたいと思う街づくり」です。しかし、現状は多様な意見や、限られた予算と人員の中での活動となっています。まちづくりは、地域住民の皆様の協力なしに実現できません。そこで令和7年度から住民参加を念頭に「サポーター登録制度」を創設しました。是非活動に参加してください。

2 7つの専門部について

令和2年2月に設立され、現在第2期目に突入した飯野地区地域づくり協議会ですが、第2期の活動では「専門部の機能強化」に重点を置いています。定期的に会議を開催し、部として何ができるのか、住民の希望にどう応えていくのかを考えていくこと、専門部としての事務局体制の確立を目指しています。

今年度、地域づくり研修生は環境部に所属しました。参加した会議の様子や取り組んだ活動についてご紹介します。



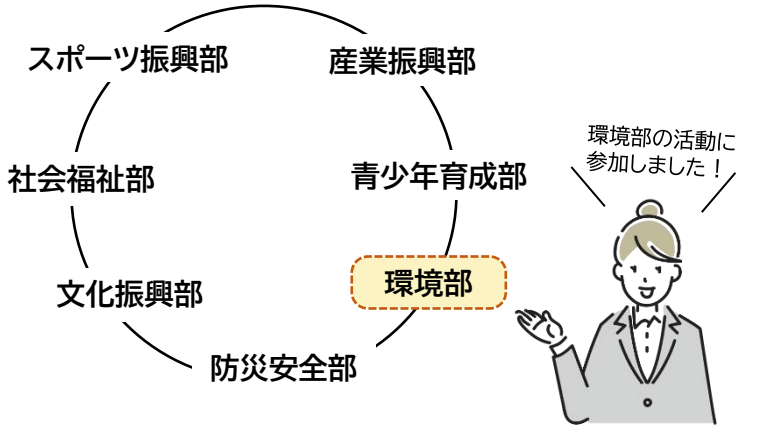
▲井戸端カフェ(社会福祉部)



▲体育大会(スポーツ振興部)



▲赤ちゃんサロン(青少年育成部)



3 環境部って、何をするの？

「気持ちよく安心して暮らせるまち」を目指して、令和6年度に発足しました。地域環境等に関する啓発活動を行っています。

定期的開催される環境委員会では、環境部の三役と各自治会から選出された環境委員が参加し、それぞれの地区の課題や今後の活動などについて話し合っています。



環境委員会の様子

会議で出た課題や意見



- ・ポイ捨てや分別など、ごみの問題がなかなか減らない。なにか啓発するための取り組みを考えたい。
- ・「まちをきれいに」看板を設置したことを知ってもらい、意識して守るような手立てを考えないといけない。
- ・犬猫ふん害への取り組みとして、自治会でふんをチョークで囲む活動を行っている。意外と効果があるので、他の自治会で取り組んでみてはどうか。
- ・環境問題に子どもたちも関われるようなことがあれば良い。

会議で決まった取組や今後の方向性

- ・活動の啓発として、「環境部だより」の発行とクリアファイル作成を決めた。「環境部だより」は環境部の活動やごみ捨てのまめちしきなどを掲載し、令和7年度は2回発行。クリアファイルは「不法投棄」「ごみの分別」「犬猫ふん害」をテーマに地域づくり研修生が作成し、全戸配布を行った。
- ・ふんをチョークで囲む犬猫ふん害への取り組みのため、各自治会に蛍光チョークを配布。実施した自治会から効果が見られたという報告があるので、今後も継続していく。
- ・環境問題に子どもたちが関われるような案として、ぬり絵やポスター作成などが良いのではないかと。令和9年度には4年に1度開催される飯野まつりがあるので、それと関連づけられるよう検討していく。



▲「まちをきれいに」看板 ▲ふんをチョークで囲む様子

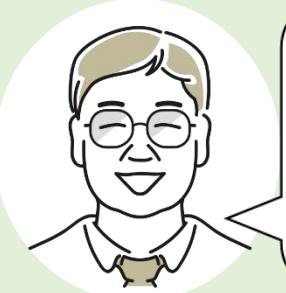


▲地域づくり研修生が作成したクリアファイル

事業に対する地域の方の思い



ごみ問題について、「知る」だけでなく「守る」ことにもつなげるための取り組みを考えていきたいです。



環境委員会では活発に議論が進められています。今後も様々な意見や質問を話し合う場にして、飯野地区をより良くしていきたいです。